

令和5年度第3回摂津市国民健康保険運営協議会（書面開催） 意見集約表

No.	意見内容	事務局の回答
1. 摂津市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）（素案）について		
II	摂津市の現状	
	「地域医療」「健康・医療のまちづくり」国立循環器病研究センターと地域医療関係者連携して健康増進に取り組んでおられますが、どのような形で推進していただけるのか具体的にお願ひします。	本市としては、国立循環器病研究センターと包括連携協定を締結し、協定をもとに健康増進施策を推進しております。 国保年金課との連携につきましては、集団特定健診において国立循環器病研究センターの医師に健診実施を協力いただいております。
	要介護認定状況が大阪府の認定割合を下回っている要因は何か。 また、摂津市が他市に比べて認定が厳しいことはないのか。	本市では積極的に介護予防事業を行っており、要支援から要介護への移行を防いでいることが、要介護割合が大阪府の認定割合を下回っている要因であると考えられます。認定について本市が他市と比較して厳しいということはありません。
III	健康課題の把握	
	分析、分析結果から見える健康課題、健康課題に対応する取組について、それぞれの関係性が分かり辛く感じます。	いただいた御意見を参考に、全体的な記載方法を見直します。
	P.33 健康課題に対する取組 腎臓病や糖尿病、高血圧」、脂質異常症、脳梗塞・脳出血等の生活習慣病の医療費が高くなっており、特定健診の受診を推進することで病気の早期発見および治療につなげる必要があります。の記載方法について、 課題「腎臓病や糖尿病、高血圧、脂質異常症、脳梗塞・脳出血等の生活習慣病の医療費が高くなっている」と、 対策「特定健診の受診を推進することで病気の早期発見および治療につなげる必要がある」が並記されている。 また、高血圧のあとに不要な『』が入っている。	いただいた御意見を参考に、全体的な記載方法、不要な記号を見直します。
	P.33 健康課題に対する取組 メタボリックシンドロームの該当者および予備軍に全体の割合が微増傾向にあります。の記載について「予備軍に全体の割合が」の表現が分かりづらい。	いただいた御意見を参考に、全体的な記載方法、不要な記号を見直します。

令和5年度第3回摂津市国民健康保険運営協議会（書面開催） 意見集約表

No.	意見内容	事務局の回答
III	健康課題の把握	
	<p>特定健診受診者に対し、生活習慣を改善することを目的に保健指導を実施しているが、血液検査等で要治療があれば積極的な指導が必要であると思う。</p>	<p>血液検査の数値等を特定健診結果通知に記載し、数値に応じて特定保健指導を実施するだけでなく、被保険者の状況に応じて医療機関への受診勧奨を実施しております。</p>
IV	保健事業の取組	
	<p>特定健診受診率の目標が令和11年度には70%となっているが、令和4年度の実績と大きくかけ離れている。受診勧奨実施率と特定健診受診率について掲げている目標数値等が達成可能な数値なのか疑問がある。達成に向けてしっかり取り組んでいただきたい。</p>	<p>国が示す保険者全体の受診率目標として70%を掲げておりましたが、市町村国保の保険者が目指す受診率目標である60%に修正します。</p> <p>なお、特定健診受診率の目標については計画最終年度の目標としており、年度毎に目標を遡増させていく計画であり、達成に向けて取り組んでまいります。</p>
	<p>対象者への勧奨については、直接話をするのが良いと思われることから、電話勧奨を中心に個別訪問を検討してはどうか。</p>	<p>御意見のとおり、直接お話することが効果的であると考えており、対象者への受診勧奨については電話勧奨を中心に実施しております。しかし、受診勧奨の対象者全員に個別訪問することは、人的資源の関係から実施が難しい状況です。ハイリスクアプローチ等、対象者が限定されている場合には、個別訪問による医療機関の受診勧奨を進めてまいります。</p>